

耕平さんかわら版

残暑お見舞い申し上げます。ご承知のとおり、末広がりの八月八日に衆議院が解散になりました。総選挙の投票日は九月十一日です。さて、第四十四回総選挙は、日本にとつて末広がりの結果となるでしょうか。小泉さんと岡田さんの真夏の対決です。

「入口」改革対「出口」改革

郵政事業には郵便と金融の二つの業務があります。郵政事業の問題点は、金融業務(郵貯・簡保)が三百四十兆円もの国民の皆さんのお金を集め、そのお金が国債などを通じて国にわたり、特殊法人等にムダ遣いされていることです。喩えて言えば、郵貯・簡保がお金を集めるところは「入口」であり、国がお金を使うところは「出口」です。問題は「出口」なのです。今回否決された法案は「入口」を民営化する案ですが、民営

化と言っても政府が株主の特殊会社になることです。問題の「出口」改革にはつながりません。

また、中山間地の貯金やお年寄りの年金受取などの面で、郵便局は「入口」として重要な役割を果たしています。こういう役割を考えると、「入口」よりも「出口」の改革を一生懸命やるべきです。岡田さんは「出口」でのムダ遣いをなくすことを優先すべきだと言っています。「入口」の小泉さんか、「出口」の岡田さんか。今度の総選挙はそういう選択です。

しかし、総選挙の争点は郵政問題だけなのででしょうか。総選挙という以上、日本をどのような国にするのか、様々な分野の政策をどのようにしていくのかという全体像がマニフェスト(政権公約)が問われます。有権者の皆さんには、是非、マニフェストを比較して投票行動を決めて頂き

版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



たいと思います。

年金をはじめとする社会保険制度の抜本的見直しが最重
要課題です。また、税金のム
ダ遣いは一向になくなりませ
ん。税金のムダ遣いと闘うこ
とは「出口」改革にも通じま
す。

いずれにしても、総選挙の
実施には約一千億円の費用が
かかります。全部税金です。
「出口」改革が本丸であるに
もかかわらず、「出口」改革を
含まない「入口」改革を主張
し、その「入口」改革だけを
争点にして総選挙に税金を使
うことは、本末転倒と言わざ
るを得ません。

不器用で愚直かもしれないま
さんが、ウソを言ったり、パフ
オーマンスをすることなく、
正々堂々と総選挙に臨みたい
と思います。



